

これだけは覚えよう！重要ポイント

相対度数

$$\frac{\text{その階級の度数}}{\text{度数の合計}}$$

範囲

$$0 \leq \text{相対度数} \leq 1$$

合計

$$\sum \text{相対度数} = 1$$

Q. 相対度数とは？ 各階級の度数が全体の何割かを表す数。異なるデータ数でも比較可能。

① 相対度数の意味

定義

相対度数 = (その階級の度数) ÷ (全度数)。割合を表す。

$$\text{相対度数} = \frac{f}{n}$$

② 計算例

例

全40人中、ある階級が8人のとき：8 ÷ 40 = 0.2 (20%)

$$\frac{8}{40} = 0.2$$

③ 合計は1

性質

全ての相対度数を足すと必ず1になる (100%)。

$$\sum \text{相対度数} = 1$$

④ 比較への活用

応用

データ数が違ってても、相対度数なら公平に比較できる。

40人と100人を相対度数で比較

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 度数と相対度数を混同

✖

相対度数 = 8人

○

相対度数 = 0.2 (割合)

相対度数は「人数」ではなく「割合」。

⚠️ 合計が1にならない

✖

相対度数の合計 = 0.95

○

相対度数の合計 = 1

合計1にならないければ計算ミス。四捨五入に注意。

最終確認チェックリスト

- 相対度数の計算方法を覚えたか？
- 相対度数の合計が1になることを理解したか？
- 異なるデータ数の比較に使えることを理解したか？